

報道関係者各位

2025年12月23日
特定医療法人南山会

地域に向けた認知症の予防研修会を開催

— 最新研究で示される「認知症の有病率減少」と「予防可能性」を専門医が解説 —

特定医療法人南山会峡西病院（本社：山梨県南アルプス市、以下「当院」）が運営する認知症疾患医療センターは、2025年12月19日、市川三郷町生涯学習センターにて地域に向けた「認知症予防研修会」を開催しました。近年、認知症の有病率が減少傾向にあるという最新の調査結果や、科学的根拠に基づく予防の重要性が注目されており、本研修会は地域における認知症予防の実践に向け大きな関心を集めました。

当日は、当院院長で認知症専門医（日本老年精神医学会専門医）の川崎洋介が登壇。国内の最新データと国際的な研究動向を整理しつつ、家庭や日常生活で実践できる予防のポイントを分かりやすく解説しました。



峡西病院
認知症疾患医療センター研修会
認知症の予防
—自分らしく、幸せに暮らす—
令和7年
12月19日 金曜日
14時45分-16時15分
(受付開始：14時15分)

申込不要
参加費無料

対象
関心のある方

♪ 研修のポイント ♪

- 予防すると認知症にならないの？
- 軽度認知障害（MCI）って何？
- 認知症の予防には、何をすればいいの？
- 話題の認知症治療薬って、一体どんなもの？

会場
市川三郷町生涯学習センター
研修室（2階）
市川三郷町市川大門1437-1
055-272-3811

講師 川崎 洋介
特定医療法人南山会 理事長
峡西病院 院長
日本老年精神医学会専門医
(認知症専門医)

主催・お問い合わせ
特定医療法人南山会
峡西病院 認知症疾患医療センター
担当：上田・中村 055-282-2151
(ナビダイヤル「2」を押してください)

■今回の研修会で示された重要トピックス

1. 認知症の有病率は10年で大きく減少

国内調査によれば、認知症の有病率は2012年15%→2022年12.3%へ減少。

川崎院長はこの背景として「新オレンジプラン（2015年）に基づく普及啓発や、MCI（軽度認知障害）段階での早期介入が広がったことが大きい」と指摘。

人口高齢化が進む中での認知症の有病率の減少傾向は、社会的にも大きな注目点となります。

2. MCI（軽度認知障害）は予防の最重要段階

認知症は突然発症するのではなく、発症の数年前から脳に変化が生じています。

川崎院長は、MCIは「病気ではなく、変化が始まっている状態」と位置づけ、早期発見・早期介入によって発症を遅らせることが可能である点を強調しました。

3. 14 の危険因子対策で発症リスクの約 45%が抑制可能

特に、近年注目されているのが「難聴」への対応。

補聴器の活用や若年期からの音暴露対策などが、予防効果の高い取り組みとして紹介されました。

あわせて、MIND 食（脳の健康を守る食事パターン）、レジスタンストレーニング（筋力トレーニング）の有効性など、エビデンスに基づく具体的な施策を説明しました。

4. 進行抑制が期待される新薬「抗アミロイドβ抗体薬」

アミロイドβの蓄積を抑え、神経細胞の変化進行を遅らせる作用をもつ新薬について、仕組みや期待される効果を解説しました。

5. 「認知症になっても幸せに暮らせる社会」を目指す

最後に川崎院長は、「絶対に認知症を防ぐ方法は存在しない。しかし、たとえ認知症になっても、目的と役割を持ち、自分らしく暮らすことはできる」と述べ、予防だけに留まらない「新しい認知症観」を提示しました。人生 100 年時代に向けて、地域社会の意識変革を促す内容となりました。

■今後の取り組み

峡西病院 認知症疾患医療センターでは、地域住民が安心して暮らせる認知症フレンドリーな地域づくりを目指し、引き続き MCI の早期発見支援、家族介護者向け相談支援、地域ケア従事者への研修、地域住民向けの予防啓発といった活動を行ってまいります。

■会社概要

【社名】 特定医療法人南山会

【設立】 1957 年 7 月 2 日

【代表】 理事長 川崎 洋介

【住所】 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地 421

【事業内容】

精神科病院 島西病院

障害者地域活動支援センター きがる館

訪問看護事業所 アルプス訪問看護ステーション

介護老人保健施設 島西老人保健センター

就労継続支援 B 型事業所 アルプスファーム

【URL】 <https://www.nan-zan.or.jp/>

＜お問い合わせ先＞

特定医療法人南山会

TEL : 055-282-2151 (代表) 055-244-7120 (直通) FAX : 055-284-4886

担当：川口